

随時記者発表

タイトル	感染性胃腸炎患者等の発生について		
区分等	発表		説明者
	資料配付	4月25日(火) 15時00分	
配付資料	別紙のとおり		
発表要旨	<p>静内保健所管内の学校において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の集団発生が確認されましたのでお知らせします。</p>		
報道に当たってのお願い	<p>住民に対し、手洗い、うがいの励行、十分な栄養と休養をとり体の抵抗力をつけるなど感染予防の呼びかけをお願いします。</p>		
担当	<p>北海道日高振興局保健環境部静内地域保健室(北海道静内保健所) 健康推進課長 大西 由香里 保健係長 <small>そいだ</small> 惣伊田 幸美 電話 0146-42-0251</p>		

感染性胃腸炎患者等の発生について

平成29年4月25日(火) 15:00

日高振興局保健環境部静内地域保健室

TEL 0146-42-0251

FAX 0146-42-7202

平成29年4月24日(月)、静内保健所管内の学校において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。

記

1 発生の探知

平成29年4月13日(木)に、静内保健所管内の学校から、複数の生徒がおう吐、下痢などの症状を呈している旨、同保健所に通報があった。

2 発生の概要

静内保健所管内の学校の生徒12名及び職員1名が、4月13日(木)から4月16日(日)にかけて、おう吐、下痢、発熱などの症状を呈し、うち5名が医療機関を受診し、治療を受けた。(入院した者はいない。)

3 現在の状況

4月25日(火)現在、症状は回復している。

4 経過

4月13日(木)～16日(日)	おう吐、下痢、発熱などの有症者発生
13日(木)	学校から保健所に通報
24日(月)	道立衛生研究所において、有症者のうち3名の便を検査した結果、内2名からサポウイルスを確認

5 感染経路

現在調査中

6 対応

静内保健所では、当該学校に対し、生徒及び職員の健康状況の把握、手洗いの励行及び施設内の消毒、清潔保持等、感染防止対策について指導を行った。

7 その他

この件については、本日15時00分、北海道保健福祉部健康安全局地域保健課においても、資料配付を行っています。

報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段の御配慮をお願いします。

サポウイルスとは

サポウイルスとは、主として乳幼児に見られるおう吐下痢症状の原因ウイルスである。サポウイルスの人への感染は、ウイルスに汚染された飲食物を口にすることや、感染者との接触等による二次感染によって起こり、その症状や予防方法はノロウイルスやロタウイルスと同様である。

主 症 状：吐き気、おう吐、腹痛、下痢、発熱(軽度)

潜 伏 期 間：24～48時間

経 過・予 後：通常3日以内で回復、予後は良好